

## 夏山ビック山行安全対策 集中豪雨へのリスク対策

この数年、梅雨明け後の夏山の天候が安定せず、大型台風の接近・上陸の他、日本近海の海水温上昇による大量の水蒸気を含んだ南風の流入、北からの冷氣団の南下等が相次ぎ、日本各地に過去に例がないほどの激しい局所豪雨をもたらし、各地で洪水、がけ崩れ、土石流等の被害を頻発させている。今夏山においても蒲田川右俣の滝谷沢渡渉点で槍ヶ岳から下山してきた3人の登山者が、折からの豪雨で増水した沢水に流されて死亡。西丹沢のキャンプ場でも、増水した川を車で渡る途中、水流に流され親子3人が死亡。また、幌尻岳の登山コースとなる額平川の渡渉では、増水した川を無理して渡渉する登山者が後を絶たず、毎年のように死傷者を出している。

登山は安全第一。天候が安定していない時は潔く中止、あるいは沢沿いのコースがある場合は、安全なコースに変更したり、安全確実に下山できるエスケートルートの確保等が重要である。しかし、一端入山し、下山中にこのような場面に遭遇してしまった場合の最良の対応は、現地山小屋関係者や遭難救助隊の指示に従う。上流部の沢水の増水はほとんどの場合、半日~1日待てば減水して、安全に渡渉できるようになるので、迂回ルートがない場合はそれまで気長に待つことである。そのための最大の安全対策は、計画に予備日を1日設ける等、余裕のある日程設定が最大の安全対策であることを肝に銘じておこう！

## 山行実施結果報告

★尾瀬ヶ原(定例)★★7/19-7/20;1泊2日、マカ2台利用。参

加10名。天候:晴/雨。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。天候に今一つ恵まれなかった。

★飯豊山縦走(提案)★★★★☆7/26-7/29;3泊4日、公共交通利用、参加11名。天候:晴/雨。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ7名削除。台風8号被害のため往路/帰路の両アプローチとも大幅迂回。2日目強風で切合小屋泊にしたため、その分3日目ロングコースとなり、大日岳ピストン隊7名/同割愛隊4名に分かれて行動。

★北ア立山・剣岳(提案)★★★8/2-8/4;2泊3日、マカ利用、参加3名。天候:晴/雨。CL/計画:、SL/会計:、救護:スタッフ名削除。予定のコースを完登。

★北ア鷲羽岳・水晶岳・雲の平(提案)★★★★;8/9-8/13;4泊5日、マカ利用。申込:6名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ7名削除。台風11号接近につき中止。

## 至近の山行予定

◆蓼科山(定例)★★8/23(土)日帰、マカバス利用。申込10名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◇火打山・妙高山(提案)★★★9/7-9/9;2泊3日テント自炊泊。マカ利用。申込4名。CL/提案:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◇中ア木曾駒ヶ岳・空木岳(提案)★★★★9/13-9/15;2泊3日。往路:ハイース/帰路公共交通利用。申込10名。CL/立案:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◇高妻山(提案)★★★9/20-9/21;1泊2日。マカ利用。申込7名。CL/提案:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◆百蔵山・扇山(定例)★★9/27(土)日帰。公共交通利用。申込12名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

## 山の花・野の花

### ヒオウギアヤメ【槍扇菖蒲】(7月科アヤメ属の多年草)



ヒオウギアヤメ(花弁の元に文目状の斑点)



カキツバタ(花弁の元に細い一本の筋状の斑点)

ヒオウギアヤメは北海道、本州の中部以北の深山の湿原に自生する。葉は剣状で幅1~2cmとアヤメより広い。花茎は高さ60~70cmあり、夏に枝分かれして、7~8月に枝端にアヤメに似た花を一輪つける。葉の形を槍扇に見立ててこの名が付けられた。花はアヤメに似ているが、ヒオウギアヤメには直立した花弁がない。ヒオウギアヤメは湿地帯に咲くが、アヤメは乾いた土を好むので区別がつく。湿原に咲くよく似た花にカキツバタがあるが、花弁の元にある斑点の違いで区別できる(写真参照)。尾瀬ヶ原にはヒオウギアヤメに交じってカキツバタも咲いているので、注意深く観察してみよう。ヒオウギアヤメは、霧ヶ峰、志賀高原、北ア朝日岳等の湿原に群生が見られる。カキツバタは江戸前期には多くの園芸品種があったといわれ、愛知県の県花でもある。アヤメの東洋一の群生地として有名な櫛形山のアヤメ平と裸山のアヤメ群生地は鹿の食害で潰滅的被害を受け、ほぼ消滅してしまった。

### ◇黒部下の廊下(提案)★★★★

★10/4-10/7; 夜行 2泊 3日(1泊はテント泊)。公共交通利用(往路夜行バス)。申込4名。CL/提案:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。

### ◇上高地・涸沢紅葉トレッキング(ゆ)

★★☆10/6-10/8; 2泊 3日。マイカ利用。申込 2名。提案: **氏名削除**。申込者僅少につき中止。

◆大菩薩峠・嶺(定例)★★ 申込 11名。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。

## 9月募集山行

### ◇北ア涸沢テント泊(提案)★

★★★) 10/4-10/5; 1泊 2日。提案: **氏名削除**。都合により中止。

### ◇大山街道を歩く②(ゆ)★★

10/25(土)日帰、公共交通利用。提案: **氏名削除**。6/28 雨天中止山行の再計画。

### ◇塩原溪谷ハイキング(ゆ)★★

10/30(木)-10/31(金); 1泊 2日。マイカバス利用。提案者: **氏名削除**。仮募集申込 9名。

### ◇碓氷峠77ト式遺構・霧積温泉・

鼻曲山(ゆ)★★ 11/3-11/4; 1泊 2日。マイカバス利用。提案: **氏名削除**。

仮募集申込 8名。

### ◇箱根明神・明星ヶ岳(提案)★

★11/8(土)日帰り、公共交通利用。提案: **氏名削除**。

## 安全登山豆知識 生涯現役を目指す

日本人の平均寿命が 2013 年に男性が世界 4 位の 80.1 歳、女性は 2 年続けて世界一の 86.8 歳になったと厚労省から発表された。一方、健康の質を維持して生活できる年齢「健康寿命」がある。2010 年の健康寿命の平均値は男性 70.4 歳、女性 73.6 歳。平均寿命との差: 男性 9.1 年、女性 12.7 年は、国や家族から何らかの介護支援を受けて暮らす期間といえる。他方、その年齢に達しつつある TTC シェアムバは登山に興味にと人生を謳歌しており、健康維持の必要条件: ①適度な有酸素運動、②肉魚等の動物性蛋白質と野菜類の摂取、③社会に積極的に関わりアクティブに生きる、の見本となるライフスタイルを実践されている。したがって、大多数の TTC ムバは生涯現役、すなわち、

健康寿命=平均寿命、「ピンピンコロリ」に近い理想的な生涯を全うできよう。

## 山に想う

### 山と語らう

#### #104 氏名削除

学生時代に友人に誘われて丹沢について行ったことがあります。その頃は、山のどこが面白いのか全く興味が沸きませんでした。

県立病院(現市立病院)の大森院長が退職されるときに、退職パーティーの演奏のお礼にと「ぼくは勤務医」という本を頂きました。そこには、第 1 回エベレスト遠征隊に植村直巳と共に医師として参加したことが綴られています。山岳会に興味を覚え、頭の片隅に残りました。

40代に仕事で腰を痛めてしまいましたが、10年前のある時、山歩きをしていると痛みが無くなることに気がしました。それから月 2 回の山歩きを始めるようになりました。

初年度は丹沢を歩き、その年の最後に塔ノ岳に登りましたが、この山に登れば全国の 8 割の山に登れると聞かされ、一人喜んだものです。

地質には興味をそそられました。不老山の途中にある神縄断層は左側が丹沢、右側が堆積層で島がぶつかった境目が目の前で見られ、とても衝撃的でした。

翌年から中央線沿線にも範囲を広げ、駅から歩ける山にたくさん登りました。山頂から富士山を見るのも楽しみの 1 つになりました。

歴史も興味深いものがあります。箱根一夜城と北高尾山稜にある八王子城跡に登った時の話です。一夜城から小田原城を見下ろすと、城の周りを兵が囲み海には軍船がひしめいているのが想像できます。秀吉は、北条の砦の要である八王子城を攻めさせ、女性、子供も含め 2 千人を皆殺しにして、城は 1 日で陥落します。これを知った小田原城は開城し北条氏は滅びます。戦国時代の終わりを肌で感ずる

ことができるのです。

その後、八ヶ岳や日本アルプスにも登るようになりました。

高山植物との出会いは楽しみの 1 つです。北岳でタカネマンテマに出会った時は、この世にこんな植物もあるのかとびっくりしました。また、ツクモグサは咲く頃を目指して見に行きましたが、横岳の急斜面の霧の中に健気に咲く姿を見て、元気をたくさん貰いました。そして、宝剣岳の岩場では、一つ岩に手をかけるたびに岩の微かなすき間に咲くコマウスユキソウが微笑んで疲れを癒してくれました。

人との出会いも楽しいものです。ある時、大月で電車を乗り換え富士急行線のボックス席に座ると、前に一人の男性が立ち「九鬼山へ行かれますか?」と尋ねてきました。私が「何故分かるんですか」と聞くと、「顔に書いてある」と。それから、着かず離れずの山歩きが始まりしました。登山道に入ると、後ろの私に「靴音がしないし気配を感じない。歩き方をどこかで習われましたか。着るものは機能さえあれば〇〇ストアのものでも十分で、金を掛けなければいけないのは、生命に関わる GPS と無線である」と。オリエンテーリングの指導員の方でいろいろと教えていただきました。そして、猿橋からの帰りの電車では焼酎を頂き八王子駅でお別れしました。このような出会いは時として起り、過去に出会った人の顔が浮かんできます。

地質、展望、歴史、植物、動物、人との出会い、四季、音楽など、山の楽しみは尽きません。

定年退職を機にトレーニングを始め、TTC に入会させていただきました。新たな山歩きが始まりました。人を愛し友情を育み、ゆっくりじっくりのんびりと山と語らっていきたいと思います。

今回は **氏名削除**さんの登場です。

**9 月例会** 9/6(土)厚木市睦合西公民館工作室、安全登山教室 18:30-19:30、例会 19:30-21:00、世話人会 18:00-18:30。